京成電鉄千葉線

みどり台駅

【現　況】

みどり台駅は、1日平均乗車人員は約3,400人、自転車等の乗入台数は148台である。
駐輪場は山側に1箇所設置しており、収容台数は225台となっている。

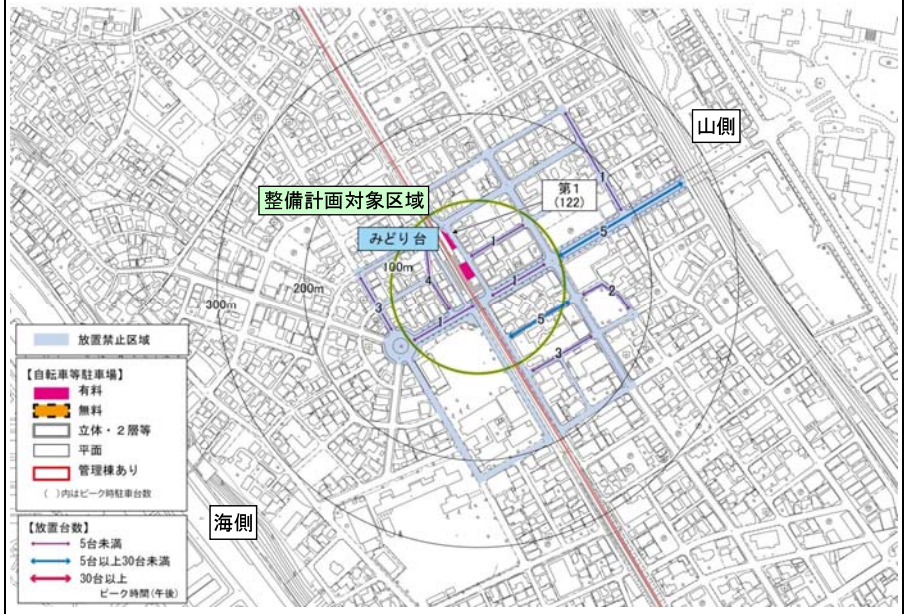
【整備計画】

海側では、推計台数が収容台数を上回るが、整備は行わないものとし、山側の第1駐輪場へ誘導し対応する。
山側では、推計台数が収容台数を下回ることから、整備は行わないものとするが、第1駐輪場の区画変更を行い、原付への対応を図る。

駐車台数・放置台数

測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

全体	ピーク時乗入台数			収容台数
		駐車	放置	
計	148	122	26	225
自転車	146	122	24	225
原付	2	0	2	0



海側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	8	0	8	0
自転車	7	0	7	0
原付	1	0	1	0

山側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	140	122	18	225
自転車	139	122	17	225
原付	1	0	1	0

◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H25)
	3,449 人／日

(H26千葉市統計書)

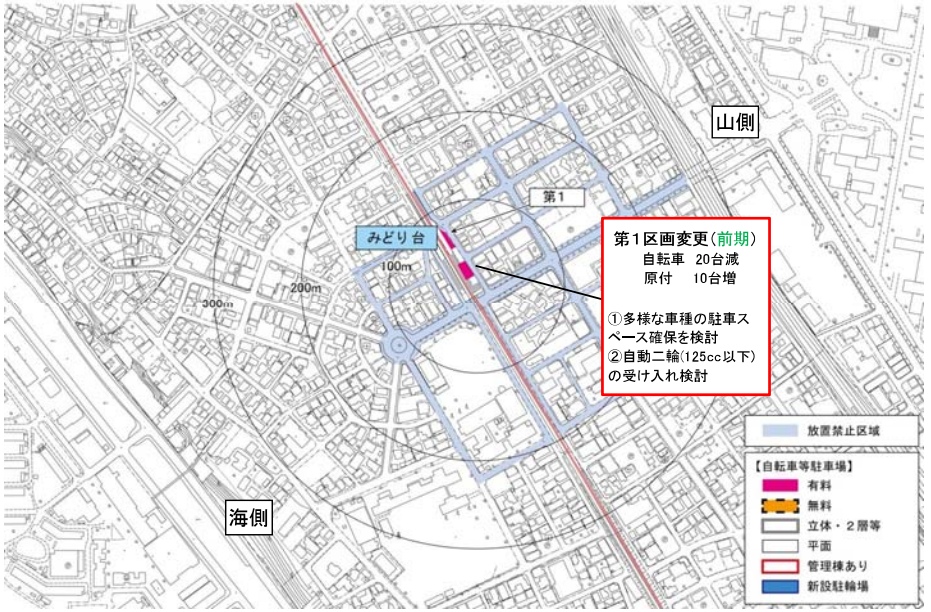
【需要推計】

みどり台駅周辺では、計画目標年次(平成33年)の乗入台数は134台と推計しており、現在の収容台数は225台を確保していることから充足している。

計画期間(H33)の伸び率	全体	自転車	原付	海側	自転車	原付	山側	自転車	原付
		0.90	1.00		1.01	1.01		0.90	0.90

整備計画図

全体	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	148	—	134	0	134	225	−
自転車	146	0.90	132	0	132	225	−
原付	2	1.00	2	0	2	0	2



海側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	8	—	8	0	8	0	8
自転車	7	1.01	7	0	7	0	7
原付	1	1.01	1	0	1	0	1

山側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	140	—	126	0	126	225	−
自転車	139	0.90	125	0	125	225	−
原付	1	0.90	1	0	1	0	1

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数 現況(内原付)	台数 整備(内原付)	台数 計(内原付)	内 一時利用 現況(内原付)	内 一時利用 計画(内原付)	整備時期	主体 用地	主体 整備	主体 運営
海側											
計			0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
山側	第1	区画変更	225 (0)	−10 (10)	215 (10)	110 (0)	110 (0)	前期	京成	市	市
計			225 (0)	−10 (10)	215 (10)	110 (0)	110 (0)				
駅計			225 (0)	−10 (10)	215 (10)	110 (0)	110 (0)				

※主体欄　市：千葉市、JR：JR東日本　京成：京成電鉄　モノ：千葉都市モノレール　民：個人または民間事業者
※整備時期欄　前期：H28～30　後期：H31～33

京成電鉄千葉線

西登戸駅

【現　況】

西登戸駅は、1日平均乗車人員は約1,100人、自転車等の乗入台数は55台である。
駐輪場は山側に1箇所設置しており、収容台数は30台となっている。
なお、駐輪場は無料となっている。

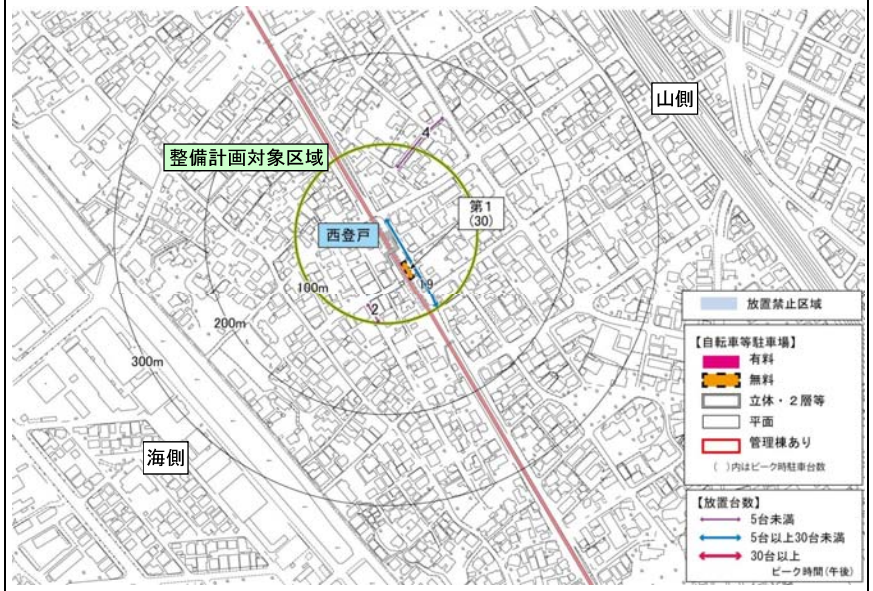
【整備計画】

受益者負担の原則に基づき、有料化を検討する。また、有料化の時期に合わせて放置禁止区域を指定する。
海側では、駐輪場がないため、収容台数が不足するが、駐輪場の整備は行わないものとし、山側の第1駐輪場へ誘導して対応する。
山側では、推計台数が収容台数と概ね同じであることから、第1駐輪場の整備は行わない。
なお、有料化に伴い、ラック、転倒防止柵、利用案内看板等の駐輪設備の整備が必要である。

駐車台数・放置台数

測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

全体	ピーク時乗入台数			収容台数
		駐車	放置	
計	55	30	25	30
自転車	52	30	22	28
原付	3	0	3	2



海側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	2	0	2	0
自転車	2	0	2	0
原付	0	0	0	0

山側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	53	30	23	30
自転車	50	30	20	28
原付	3	0	3	2

◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H25)
	1,138 人／日

（H26千葉市統計書）

【需要推計】

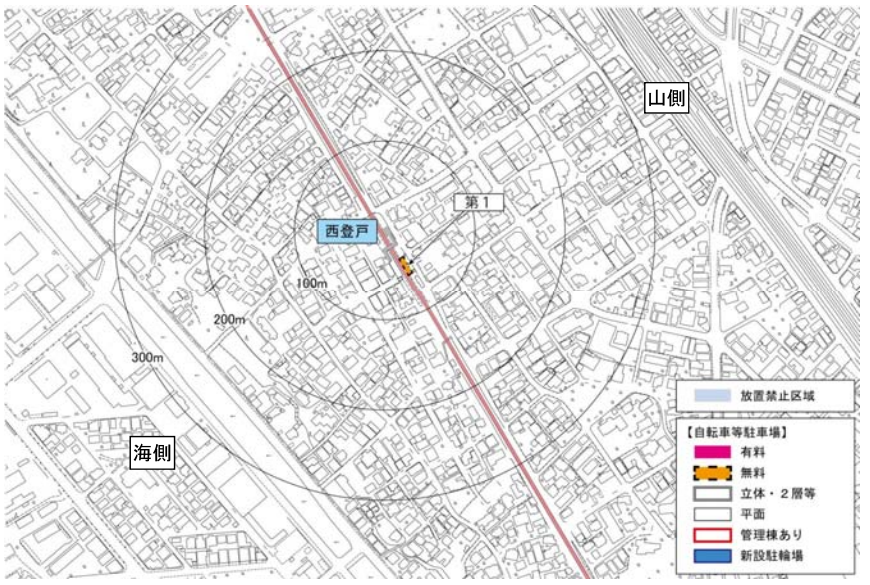
西登戸駅周辺では、計画目標年次（平成33年）の乗入台数は55台と推計している。また、無料駐輪場を有料化した場合、乗入台数に減少が見込まれることから、乗入推計においては有料化による影響を考慮し、乗入台数を29台と推計する。現在、収容台数は30台を確保していることから充足している。

計画期間(H33)の伸び率	全体	自転車	原付	海側	自転車	原付	山側	自転車	原付
		1.00	1.00		0.99	0.99		1.00	1.00

無料駐輪場の有料化による乗入台数低下の割合	自転車	原付
	51%	51%

整備計画図

全体	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	有料化補正	推計台数	収容台数	不足台数
計	55	—	55	—	29	30	−
自転車	52	1.00	52	0.51	27	28	−
原付	3	1.00	3	0.51	2	2	−



海側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	有料化補正	推計台数	収容台数	不足台数
計	2	—	2	—	1	0	1
自転車	2	0.99	2	0.51	1	0	1
原付	0	0.99	0	0.51	0	0	—

山側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	有料化補正	推計台数	収容台数	不足台数
計	53	—	53	—	28	30	−
自転車	50	1.00	50	0.51	26	28	−
原付	3	1.00	3	0.51	2	2	−

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数 現況(内原付)	台数 整備(内原付)	台数 計(内原付)	内 一時利用 現況(内原付)	内 一時利用 計画(内原付)	整備時期	主体 用地	主体 整備	主体 運営
海側											
	計		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
山側	第1		30 (2)		30 (2)	0 (0)	0 (0)	—	京成	市	市
	計		30 (2)	0 (0)	30 (2)	0 (0)	0 (0)				
	駅計		30 (2)	0 (0)	30 (2)	0 (0)	0 (0)				

※主体欄　市：千葉市、JR：JR東日本　京成：京成電鉄　モノ：千葉都市モノレール　民：個人または民間事業者
※整備時期欄　前期：H28～30　後期：H31～33

京成電鉄千葉線

新千葉駅

【現　況】

新千葉駅は、1日平均乗車人員は約800人、自転車等の乗入台数は僅かに1台である。
駐輪場は整備されていない。
新千葉駅の周辺にはJRの千葉駅、西千葉駅や京成千葉駅が比較的近い距離にあることから乗入需要は少ない。
また、駅周辺は狭隘な道路なため、放置車両がほとんどない。

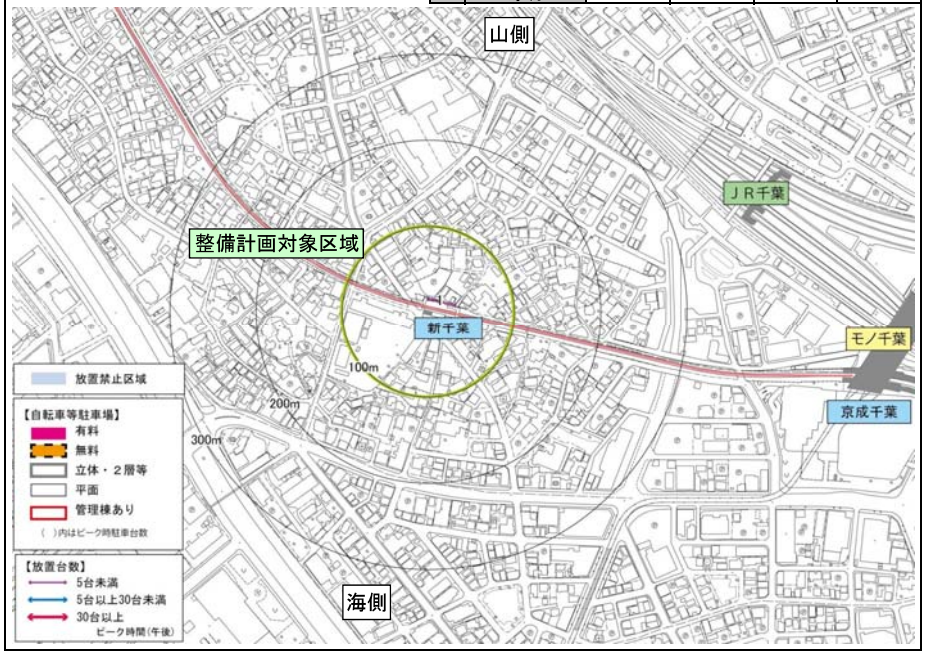
【整備計画】

乗入需要がほとんどないことから、駐輪場の整備は行わないものとする。
今後、自転車等の乗入需要があった場合は、直近の千葉駅西口などの駐輪場へ誘導し対応する。

駐車台数・放置台数

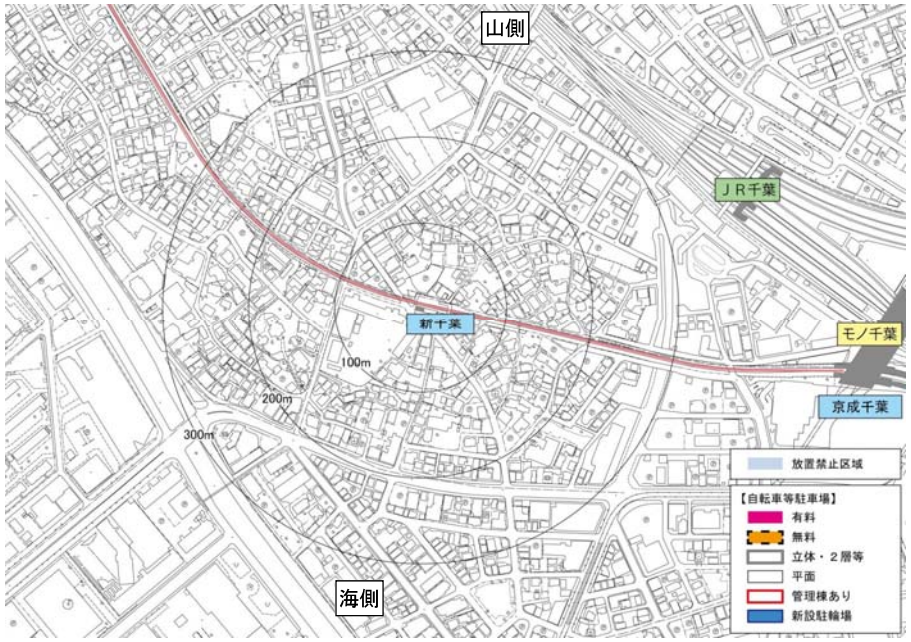
測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

	全体	ピーク時乗入台数		収容台数
		駐車	放置	
計	1	0	1	0
自転車	1	0	1	0
原付	0	0	0	0



整備計画図

	全体	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規 需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計		1	—	1	0	1	0	1
自転車		1	1.00	1	0	1	0	1
原付		0	1.00	0	0	0	0	0



◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H25)
	752 人／日

（H26千葉市統計書）

【需要推計】

新千葉駅周辺では、計画目標年次（平成33年）の乗入台数は1台と推計している。

計画期間(H33)の伸び率	全体	自転車	原付
		1.00	1.00

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数 現況(内原付)	台数 整備(内原付)	台数 計(内原付)	内 一時利用 現況(内原付)	内 一時利用 計画(内原付)	整備時期	主体 用地	主体 整備	主体 運営
海側											
計			0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
山側											
計			0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
駅計			0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				

※主体欄　市：千葉市、JR：JR東日本　京成：京成電鉄　モノ：千葉都市モノレール　民：個人または民間事業者
※整備時期欄　前期：H28～30　後期：H31～33

京成電鉄千葉線・千葉都市モノレール1号線

千葉中央駅・葭川公園駅

【現　況】

千葉中央駅と葭川公園駅を合わせた1日平均乗車人員は約9,000人、自転車等の乗入台数は581台である。

千葉中央駅海側に駐輪場を1箇所設置しており、収容台数は46台となっている。また、千葉中央駅周辺に民設民営の駐輪場が4箇所あり、市営と民間の駐輪場を合わせると収容台数は424台となっている。

【整備計画】

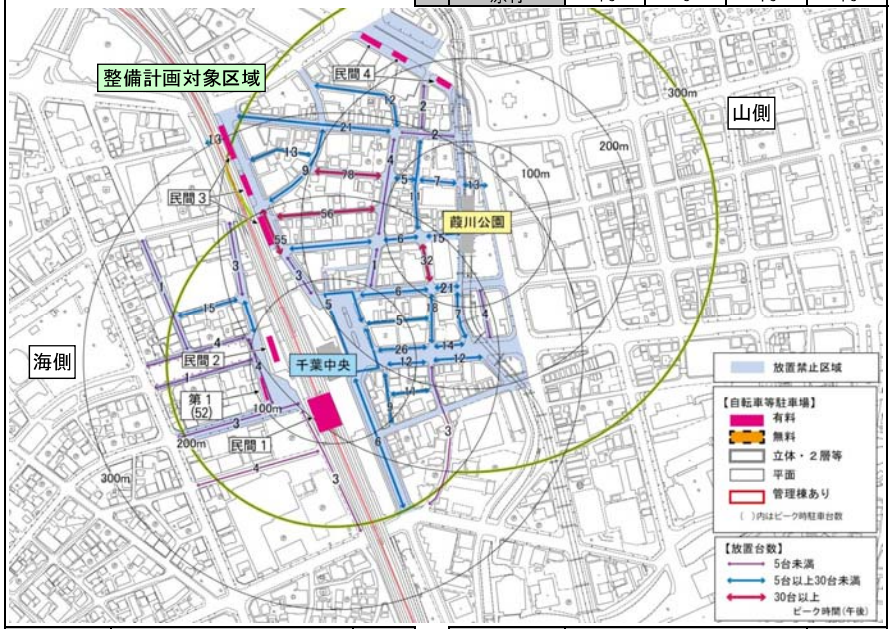
海側には、第1駐輪場のほか、民間駐輪場が2箇所あり、官民合わせた収容台数では、推計台数を上回ることから、駐輪場の整備は行わないものとする。

山側では、市営駐輪場はないものの、商業施設利用者向けの民間駐輪場が点在している。推計台数では、これら民間駐輪場の収容台数を上回ることから、引き続き、民間主体による駐輪場整備を促すこととし、市営駐輪場の整備は行わないものとする。

駐車台数・放置台数

測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

全体	ピーク時乗入台数			収容台数
		駐車	放置	
計	581	272	309	424
自転車	565	272	293	408
原付	16	0	16	16



海側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	141	103	38	157
自転車	138	103	35	141
原付	3	0	3	16

山側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	440	169	271	267
自転車	427	169	258	267
原付	13	0	13	0

◆参考データ

駅利用	1日平均乗車人員(H25)
京成	8,017 人／日
モノレール	802 人／日

（H26千葉市統計書）

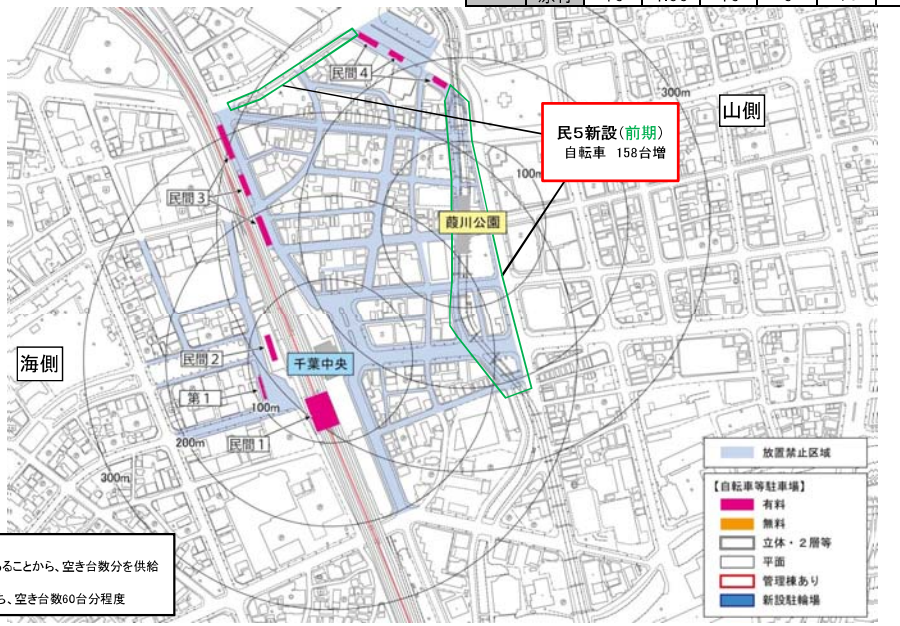
【需要推計】

千葉中央駅・葭川公園駅周辺では、計画目標年次（平成33年）の乗入台数は582台と推計しており、現在の収容台数424台に対して158台の不足を見込んでいる。

計画期間(H33)の伸び率	全体			海側			山側		
	自転車	原付		自転車	原付		自転車	原付	
	1.00	1.00		1.01	1.01		1.00	1.00	

整備計画図

全体	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規 需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	581	—	582	0	582	424	158
自転車	565	1.00	566	0	566	408	158
原付	16	1.00	16	0	16	16	－



民間駐輪場（民1）
不特定多数向けであることから、空き台数分を供給台数として算入する。
収容台数316台のうち、空き台数60台分程度

海側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規 需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	141	—	142	0	142	157	—
自転車	138	1.01	139	0	139	141	—
原付	3	1.01	3	0	3	16	—

山側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規 需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	440	—	440	0	440	267	173
自転車	427	1.00	427	0	427	267	160
原付	13	1.00	13	0	13	0	13

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数 現況(内原付)	台数 整備(内原付)	台数 計(内原付)	内 一時利用 現況(内原付)	内 一時利用 計画(内原付)	整備時期	主体 用地	主体 整備	主体 運営
海側	第1		46 (0)		46 (0)	46 (0)	46 (0)	—	市	市	市
	民1		60 (16)		60 (16)			—	民	民	民
	民2		51 (0)		51 (0)	51 (0)	51 (0)	—	民	民	民
	計		157 (16)	0 (0)	157 (16)	97 (0)	97 (0)				
山側	民3		169 (0)		169 (0)	169 (0)	169 (0)	—	市	民	民
	民4		98 (0)		98 (0)	98 (0)	98 (0)	—	市	民	民
	民5	新設 路上P		158 (0)	158 (0)		158 (0)	前期	市	民	民
計			267 (0)	158 (0)	425 (0)	267 (0)	425 (0)				
駅計			424 (16)	158 (0)	582 (16)	364 (0)	522 (0)				

※主体欄　市：千葉市、JR：JR東日本　京成：京成電鉄　モノ：千葉都市モノレール　民：個人または民間事業者
※整備時期欄　前期：H28～30　後期：H31～33

京成電鉄千原線

千葉寺駅

【現　況】

千葉寺駅は、1日平均乗車人員は約2,200人、自転車等の乗入台数は151台である。
駐輪場は西側に4箇所、東側に1箇所設置しており、収容台数は632台となっている。

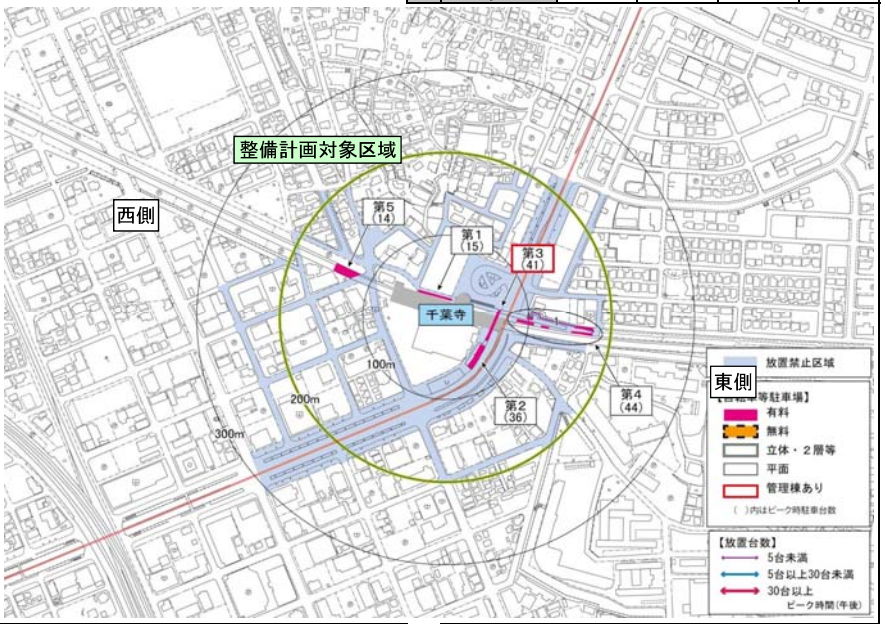
【整備計画】

西側では、推計台数が収容台数を下回ることから、第2、第5駐輪場の廃止、第3駐輪場の縮小により対応する。
東側では、推計台数が収容台数を下回ることから、第4駐輪場の縮小により対応する。

駐車台数・放置台数

測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

全体	ピーク時乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	151	150	1	632
自転車	147	146	1	622
原付	4	4	0	10



西側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	106	106	0	458
自転車	102	102	0	448
原付	4	4	0	10

東側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	45	44	1	174
自転車	45	44	1	174
原付	0	0	0	0

◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H25)
	2,171 人／日

(H26千葉市統計書)

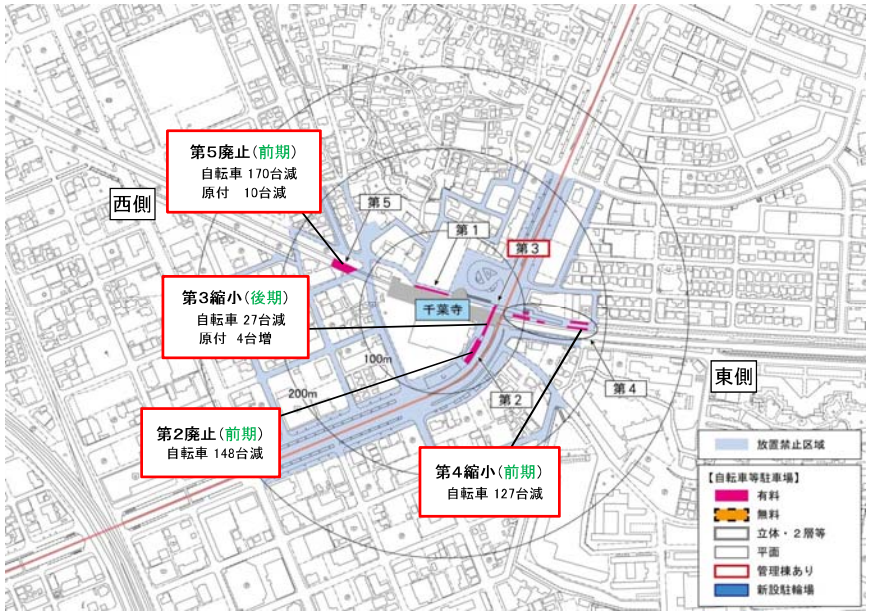
【需要推計】

千葉寺駅周辺では、計画目標年次(平成33年)の乗入台数は154台と推計しており、現在、収容台数632台を確保していることから充足している。

計画期間(H33)の伸び率	全体	自転車	原付	西側	自転車	原付	東側	自転車	原付
		1.02	1.00		1.01	1.01		1.04	1.04

整備計画図

全体	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規 需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	151	—	154	0	154	632	−
自転車	147	1.02	150	0	150	622	−
原付	4	1.00	4	0	4	10	−



西側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規 需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	106	—	107	0	107	458	—
自転車	102	1.01	103	0	103	448	—
原付	4	1.01	4	0	4	10	—

東側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規 需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	45	—	47	0	47	174	−
自転車	45	1.04	47	0	47	174	−
原付	0	1.04	0	0	0	0	−

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数 現況(内原付)	台数 整備(内原付)	台数 計(内原付)	内 一時利用 現況(内原付)	内 一時利用 計画(内原付)	整備時期	主体 用地	主体 整備	主体 運営
西側	第1		43 (0)		43 (0)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市
	第2	廃止	148 (0)	-148 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	前期	市	市	市
	第3	縮小	87 (0)	-23 (4)	64 (4)	87 (0)	60 (0)	後期	市	市	市
	第5	廃止	180 (10)	-180 (-10)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	前期	京成	市	市
	計		458 (10)	-351 (-6)	107 (4)	87 (0)	60 (0)				
東側	第4	縮小	174 (0)	-127 (0)	47 (0)	0 (0)	0 (0)	前期	市	市	市
	計		174 (0)	-127 (0)	47 (0)	0 (0)	0 (0)				
駅計			632 (10)	-478 (-6)	154 (4)	87 (0)	60 (0)				

※主体欄　市：千葉市、JR：JR東日本　京成：京成電鉄　モノ：千葉都市モノレール　民：個人または民間事業者
※整備時期欄　前期：H28～30　後期：H31～33

京成電鉄千原線

大森台駅

【現　況】

大森台駅は、1日平均乗車人員は約1,300人、自転車等の乗入台数は108台である。
駐輪場は西側に1箇所、東側に1箇所設置しており、収容台数は505台となっている。

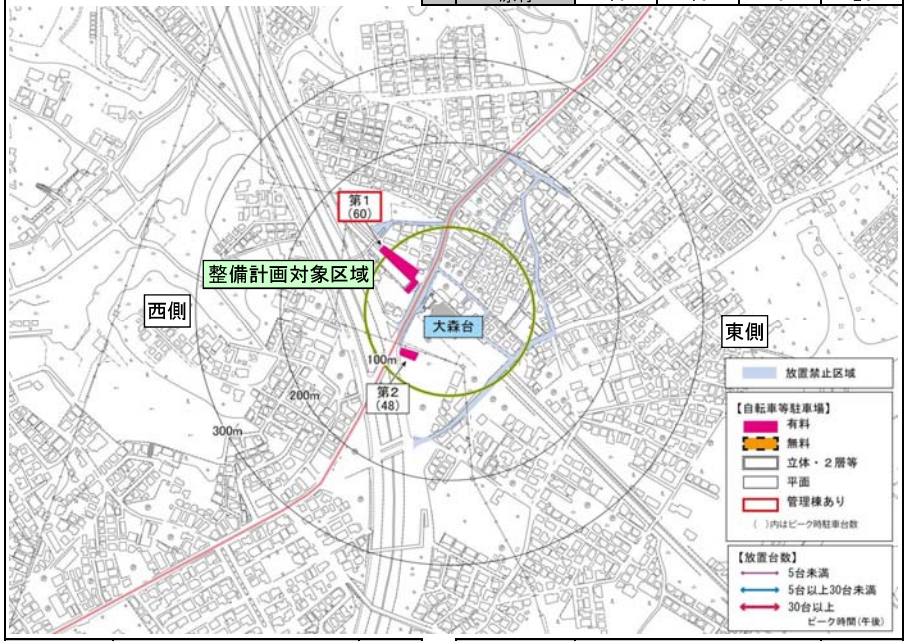
【整備計画】

西側では、推計台数が収容台数を下回ることから、第1駐輪場の縮小により対応する。
東側では、推計台数が収容台数を下回ることから、駐輪場の整備は行わないものとする。

駐車台数・放置台数

測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

全体	ピーク時乗入台数			収容台数
		駐車	放置	
計	108	108	0	505
自転車	98	98	0	479
原付	10	10	0	26



西側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	60	60	0	380
自転車	54	54	0	359
原付	6	6	0	21

東側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	48	48	0	125
自転車	44	44	0	120
原付	4	4	0	5

◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H25)
	1,342 人／日

（H26千葉市統計書）

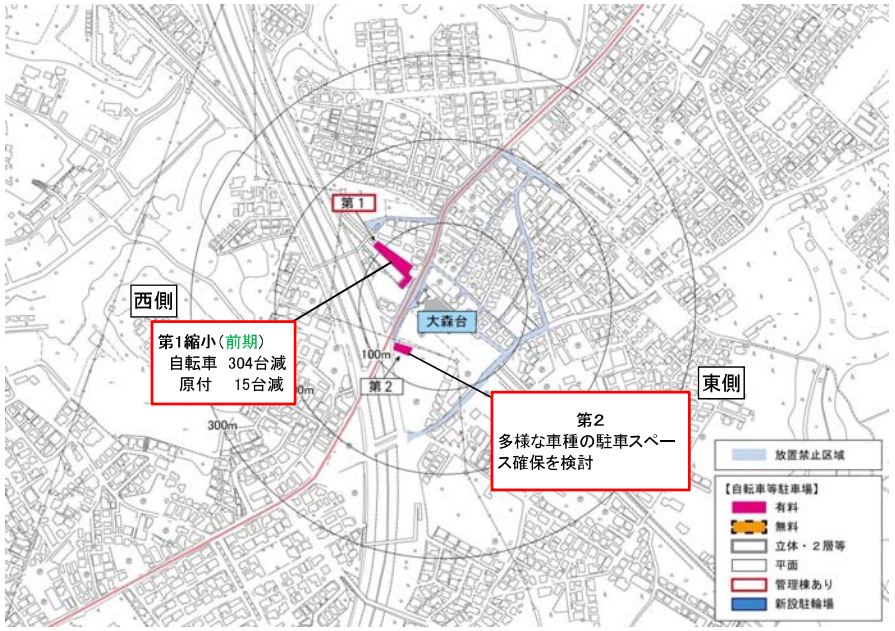
【需要推計】

大森台駅周辺では、計画目標年次(平成33年)の乗入台数は109台と推計しており、現在、収容台数を505台確保しており充足している。

計画期間(H33)の伸び率	全体	自転車	原付	西側	自転車	原付	東側	自転車	原付
		1.01	1.00		1.01	1.01		1.01	1.01

整備計画図

全体	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	108	—	109	0	109	505	−
自転車	98	1.01	99	0	99	479	−
原付	10	1.00	10	0	10	26	−



西側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	60	—	61	0	61	380	—
自転車	54	1.01	55	0	55	359	—
原付	6	1.01	6	0	6	21	—

東側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	48	—	48	0	48	125	−
自転車	44	1.01	44	0	44	120	−
原付	4	1.01	4	0	4	5	−

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数 現況(内原付)	台数 整備(内原付)	台数 計(内原付)	内 一時利用 現況(内原付)	内 一時利用 計画(内原付)	整備時期	主体 用地	主体 整備	主体 運営
西側	第1	縮小	380 (21)	-319 (-15)	61 (6)	55 (5)	35 (5)	前期	京成	市	市
	計		380 (21)	-319 (-15)	61 (6)	55 (5)	35 (5)				
東側	第2		125 (5)		125 (5)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市
	計		125 (5)	0 (0)	125 (5)	0 (0)	0 (0)				
駅計			505 (26)	-319 (-15)	186 (11)	55 (5)	35 (5)				

※主体欄　市：千葉市、JR：JR東日本　京成：京成電鉄　モノ：千葉都市モノレール　民：個人または民間事業者
※整備時期欄　前期：H28～30　後期：H31～33

京成電鉄千原線

学園前駅

【現　況】

学園前駅は、1日平均乗車人員は約2,400人、自転車等の乗入台数は119台である。
駐輪場は西側に1箇所、東側に1箇所設置しており、収容台数は476台となっている。

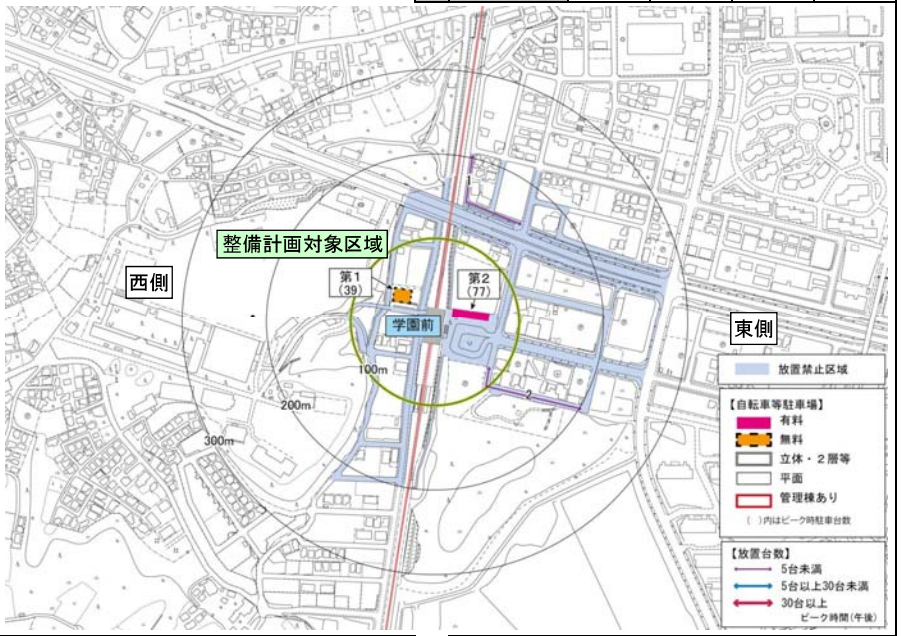
【整備計画】

西側では、推計台数が収容台数を下回ることから、駐輪場の整備は行わないものとする。
東側では、推計台数が収容台数を下回ることから、第2駐輪場の縮小により対応する。

駐車台数・放置台数

測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

全体	ピーク時乗入台数			収容台数
		駐車	放置	
計	119	116	3	476
自転車	115	112	3	466
原付	4	4	0	10



西側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	39	39	0	179
自転車	35	35	0	169
原付	4	4	0	10

東側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	80	77	3	297
自転車	80	77	3	297
原付	0	0	0	0

◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H25)
	2,437 人／日

（H26千葉市統計書）

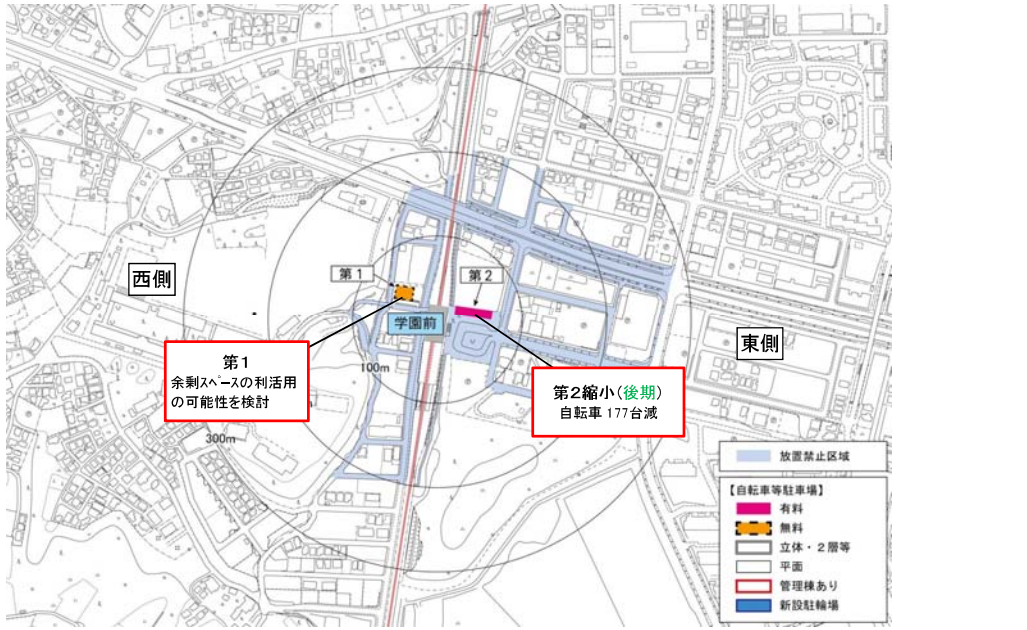
【需要推計】

学園前駅周辺では、計画目標年次（平成33年）の乗入台数は118台と推計しており、現在、収容台数を476台確保していることから充足している。

計画期間(H33)の伸び率	全体	自転車	原付	西側	自転車	原付	東側	自転車	原付
		0.99	1.00		1.01	1.01		0.99	0.99

整備計画図

全体	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	119	—	118	0	118	476	−
自転車	115	0.99	114	0	114	466	−
原付	4	1.00	4	0	4	10	−



西側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	39	—	39	0	39	179	—
自転車	35	1.01	35	0	35	169	—
原付	4	1.01	4	0	4	10	—

東側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	80	—	79	0	79	297	−
自転車	80	0.99	79	0	79	297	−
原付	0	0.99	0	0	0	0	−

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数 現況(内原付)	台数 整備(内原付)	台数 計(内原付)	内一時利用 現況(内原付)	内一時利用 計画(内原付)	整備時期	主体 用地	主体 整備	主体 運営
西側	第1		179 (10)		179 (10)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市
	計		179 (10)	0 (0)	179 (10)	0 (0)	0 (0)				
東側	第2	縮小	297 (0)	−177 (0)	120 (0)	79 (0)	50 (0)	後期	市	市	市
	計		297 (0)	−177 (0)	120 (0)	79 (0)	50 (0)				
駅計			476 (10)	−177 (0)	299 (10)	79 (0)	50 (0)				

※主体欄　市：千葉市、JR：JR東日本　京成：京成電鉄　モノ：千葉都市モノレール　民：個人または民間事業者
※整備時期欄　前期：H28～30　後期：H31～33

京成電鉄千原線

おゆみ野駅

【現　況】

おゆみ野駅は、1日平均乗車人員は約2,200人、自転車等の乗入台数は185台である。
駐輪場は南側に1箇所（鉄道高架下）、北側に1箇所設置しており、収容台数は592台となっている。

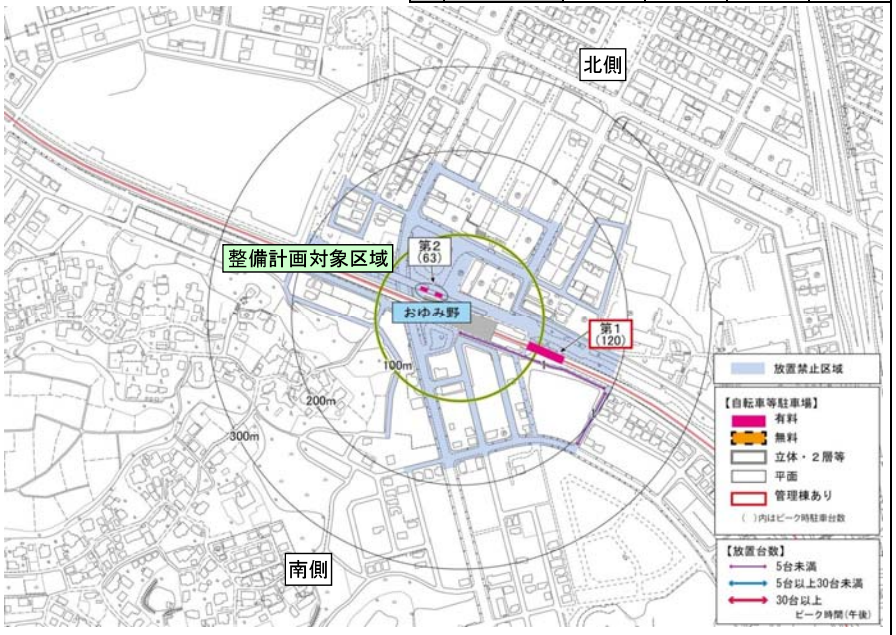
【整備計画】

南側及び北側では、推計台数が収容台数を下回ることから、第1駐輪場の縮小により対応する。

駐車台数・放置台数

測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

全体	ピーク時乗入台数			収容台数
		駐車	放置	
計	185	183	2	592
自転車	181	179	2	572
原付	4	4	0	20



南側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	122	120	2	250
自転車	118	116	2	240
原付	4	4	0	10

北側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	63	63	0	342
自転車	63	63	0	332
原付	0	0	0	10

◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員（H25）
	2,201 人／日

（H26千葉市統計書）

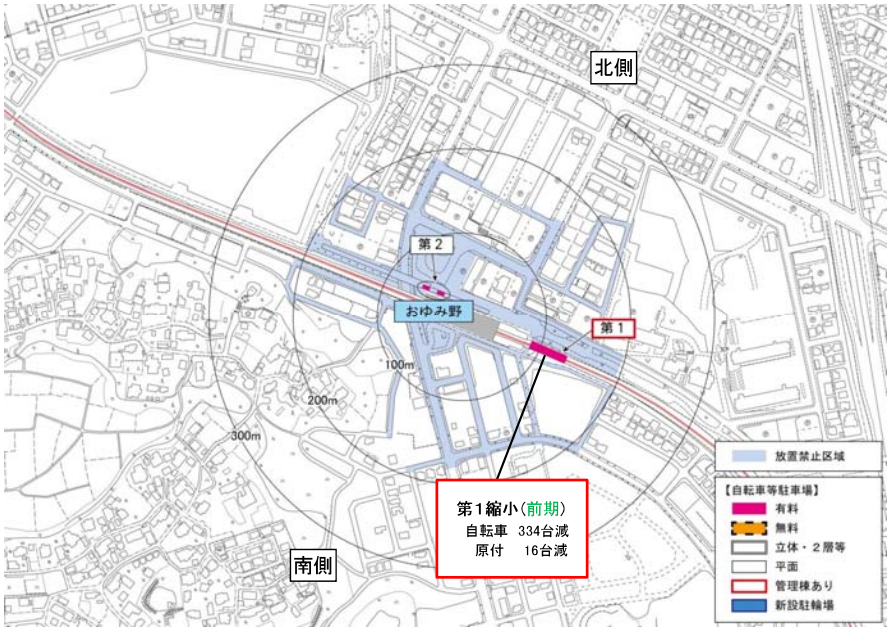
【需要推計】

おゆみ野駅周辺では、計画目標年次（平成33年）の乗入台数は210台と推計しており、現在、収容台数592台を確保していることから充足している。

計画期間（H33）の伸び率	全体	自転車	原付	南側	自転車	原付	北側	自転車	原付
		1.14	1.00		1.12	1.12		1.18	1.18

整備計画図

全体	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	185	—	210	0	210	592	−
自転車	181	1.14	206	0	206	572	−
原付	4	1.00	4	0	4	20	−



南側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	122	—	136	0	136	250	—
自転車	118	1.12	132	0	132	240	—
原付	4	1.12	4	0	4	10	—

北側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	63	—	74	0	74	342	−
自転車	63	1.18	74	0	74	332	−
原付	0	1.18	0	0	0	10	−

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数 現況（内原付）	台数 整備（内原付）	台数 計（内原付）	内 一時利用 現況（内原付）	内 一時利用 計画（内原付）	整備時期	主体 用地	主体 整備	主体 運営
南側	第1	縮小	250 (10)	−114 (−6)	136 (4)	10 (10)	4 (4)	前期	京成	市	市
	計		250 (10)	−114 (−6)	136 (4)	10 (10)	4 (4)				
北側	第1	縮小	250 (10)	−236 (−10)	14 (0)	0 (0)	0 (0)	前期	京成	市	市
	第2		92 (0)		92 (0)	92 (0)	92 (0)	—	市	市	市
	計		342 (10)	−236 (−10)	106 (0)	92 (0)	92 (0)				
駅計			592 (20)	−350 (−16)	242 (4)	102 (10)	96 (4)				

※主体欄　市：千葉市、JR：JR東日本　京成：京成電鉄　モノ：千葉都市モノレール　民：個人または民間事業者
※整備時期欄　前期：H28～30　後期：H31～33

千葉都市モノレール1号線

市役所前駅

【現　況】

市役所前駅は、1日平均乗車人員は約1,900人、自転車等の乗入台数は44台である。
なお、駐輪場は整備されていない。

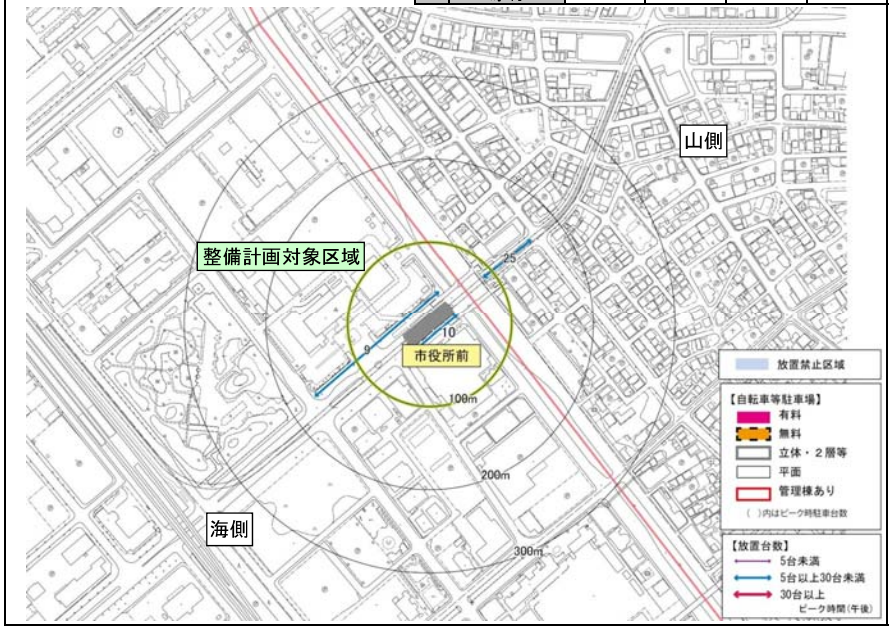
【整備計画】

受益者負担の原則に基づき、有料化を検討する。また、有料化の時期に合わせて放置禁止区域を指定する。
駅全体では、駐輪場がなく、収容台数が不足することから、第1駐輪場の新設により対応する。第1駐輪場は路上の駐輪場整備となることから、原付の受入れは行わない。
なお、有料化に伴い、ラック、転倒防止柵、利用案内看板等の駐輪設備の整備が必要である。

駐車台数・放置台数

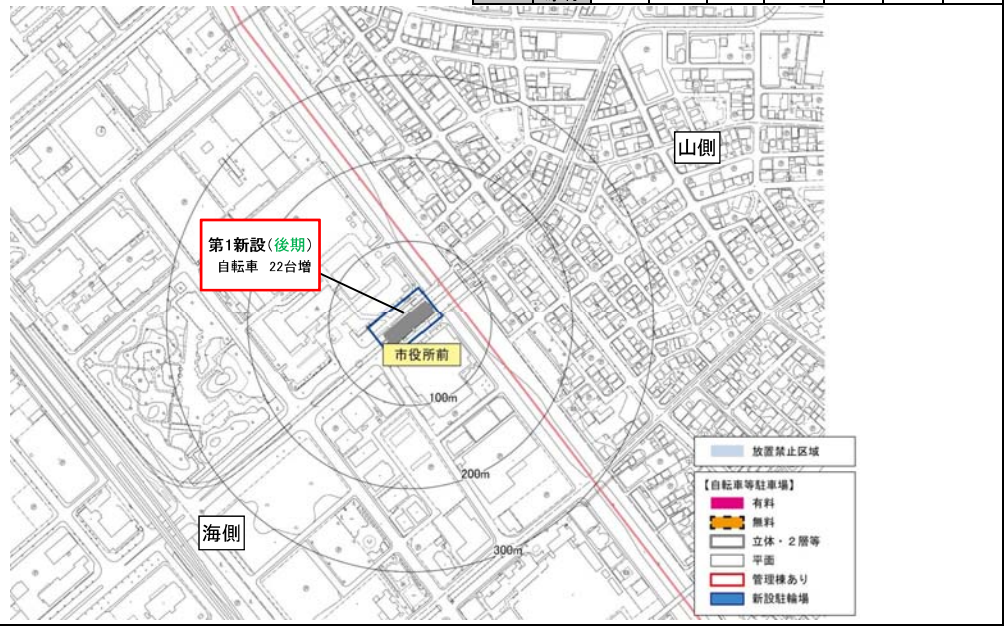
測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

全体	ピーク時乗入台数			収容台数
		駐車	放置	
計	44	0	44	0
自転車	43	0	43	0
原付	1	0	1	0



整備計画図

全体	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	有料化補正	推計台数	収容台数	不足台数
計	44	—	44	0	23	0	23
自転車	43	1.00	43	0.51	22	0	22
原付	1	1.00	1	0.51	1	0	1



◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員（H25）
	1,922 人／日

（H26千葉市統計書）

【需要推計】

市役所前駅周辺では、計画目標年次（平成33年）の乗入台数は44台と推計している。また、駐輪場整備とともに有料化した場合、乗入台数に減少が見込まれることから、需要推計においては有料化による影響を考慮し、乗入台数を23台と推計する。

計画期間（H33）の伸び率	全体	自転車	原付
		1.00	1.00

無料駐輪場の有料化による乗入台数低下の割合	自転車	原付
	51%	51%

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数 現況（内原付）	台数 整備（内原付）	台数 計（内原付）	内一時利用 現況（内原付）	内一時利用 計画（内原付）	整備時期	主体 用地	主体 整備	主体 運営
	第1	新設　路上P		22　(0)	22　(0)	0　(0)	0　(0)	後期	市	市	市
	計		0　(0)	22　(0)	22　(0)	0　(0)	0　(0)				

※主体欄　市：千葉市、JR：JR東日本　京成：京成電鉄　モノ：千葉都市モノレール　民：個人または民間事業者
※整備時期欄　前期：H28～30　後期：H31～33

千葉都市モノレール1号線

県庁前駅

【現　況】

県庁前駅は、1日平均乗車人員は約850人、自転車等の乗入台数は15台である。
なお、駐輪場は整備されていない。

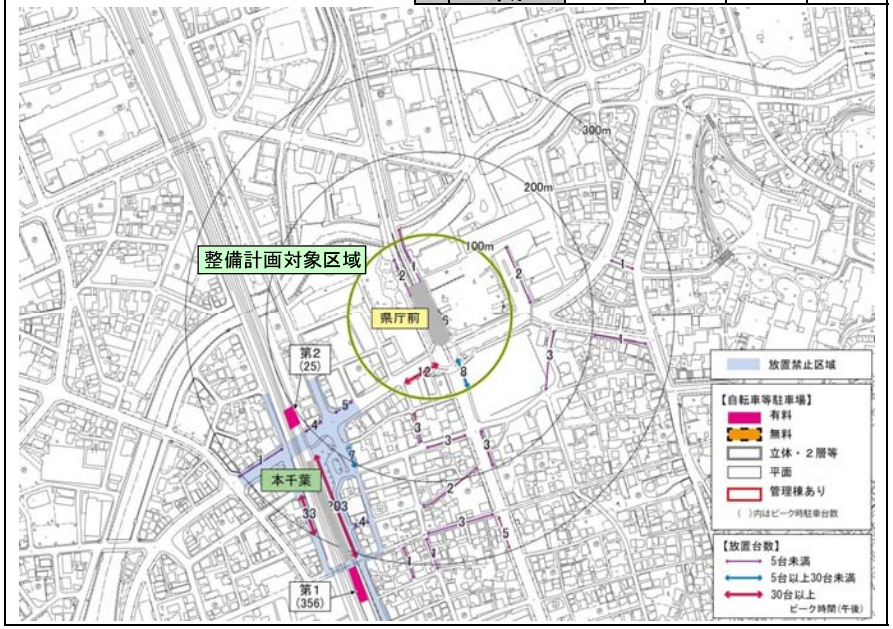
【整備計画】

受益者負担の原則に基づき、有料化を検討する。また、有料化の時期に合わせて放置禁止区域を指定する。
駅全体では、駐輪場がなく、収容台数が不足することから、第1駐輪場の新設により対応する。
なお、有料化に伴い、ラック、転倒防止柵、利用案内看板等の駐輪設備の整備が必要である。

駐車台数・放置台数

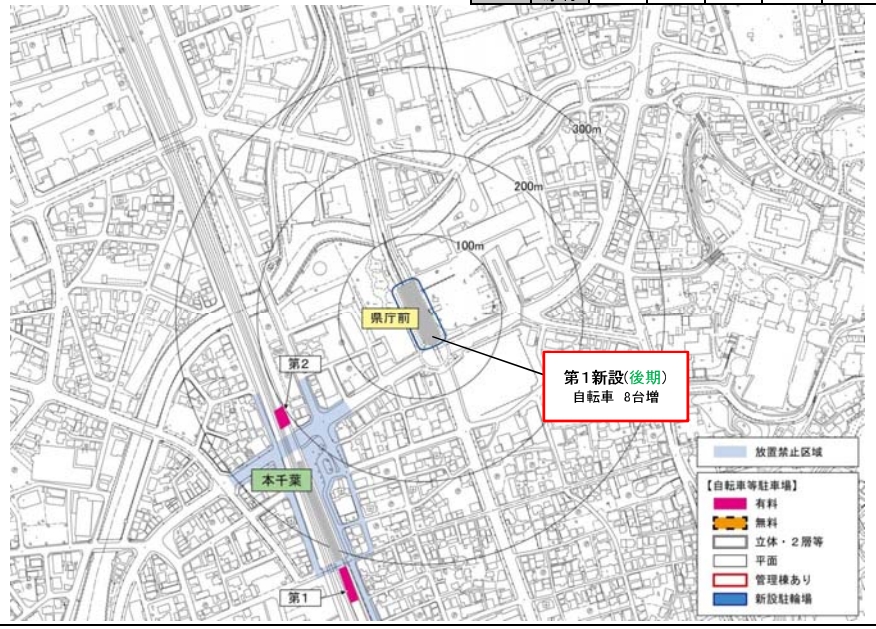
測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

全体	ピーク時乗入台数			収容台数
		駐車	放置	
計	15	0	15	0
自転車	15	0	15	0
原付	0	0	0	0



整備計画図

全体	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	有料化補正	推計台数	収容台数	不足台数
計	15	—	15	—	8	0	8
自転車	15	1.00	15	0.51	8	0	8
原付	0	1.00	0	0.51	0	0	0



◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H25)
	849 人／日

(H26千葉市統計書)

【需要推計】

県庁前駅周辺では、計画目標年次(平成33年)の乗入台数は15台と推計している。また、駐輪場整備とともに有料化した場合、乗入台数に減少が見込まれることから、需要推計においては有料化による影響を考慮し、乗入台数を8台と推計する。

計画期間(H33)の伸び率	全体	自転車	原付
		1.00	1.00

無料駐輪場の有料化による乗入台数低下の割合	自転車	原付
	51%	51%

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数 現況(内原付)	台数 整備(内原付)	台数 計(内原付)	内 一時利用 現況(内原付)	内 一時利用 計画(内原付)	整備時期	主体 用地	主体 整備	主体 運営
	第1	新設　路上P		8 (0)	8 (0)	0 (0)	0 (0)	後期	市	市	市
駅計			0 (0)	8 (0)	8 (0)	0 (0)	0 (0)				

※主体欄　市：千葉市、JR：JR東日本　京成：京成電鉄　モノ：千葉都市モノレール　民：個人または民間事業者
※整備時期欄　前期：H28～30　後期：H31～33